

事業概要

1. 事業目的

本業務は、経年 46 年を超え施設機能の劣化が著しい実験施設の全面改修を実施し、温度・湿度・気密・騒音・振動・気流等の実験環境の改善を図るものである。整備後は、「風洞実験のリアルな流体科学」と「スパコンのヴァーチャルな情報科学」の融合によって誤差の少ない精微で膨大なデータの転送や処理を超高速化し、新たなデータ同化システム＜風洞実験デジタルツイン＞を構築する。

2. 事業規模等

- ・建物名称：実験研究棟（低乱風洞実験棟）
- ・建築年：昭和 50 年
- ・構造：鉄筋コンクリート造
- ・規模：地上 2 階建て 延べ面積 1, 5 7 1 m²
- ・改修内容：内外装改修、外構工事
(建築設計と電気・機械設備設計は分離発注)

3. 基本整備方針

- ・「第 5 次国立大学法人等施設整備 5 か年計画」に基づき、「共創」の拠点としての役割を果たすため、「イノベーション・commons^{※1}」へと転換させる。
- ・限られたスペースの中で、効果的かつ経済的な計画とする。
- ・整備等に要するコスト縮減や工期短縮等を図る。
- ・環境に配慮した技術を積極的に活用し、ZEBready を実現する。
- ・風洞実験で発生する騒音による室外及び建物外へ及ぼす影響のみならず、室内の吸音および遮音のための十分な処置を行う計画とする。

※1 「イノベーション・commons」とは、ソフト・ハードの取組が一体となり、対面とオンラインとのコミュニケーションを融合させながら、あらゆる分野、あらゆる場面で、あらゆるプレーヤーが「共創」できる場であり、教育研究施設だけでなく、食堂や寮、屋外空間等も含めキャンパス全体が有機的に連携した「共創」の拠点である。